

16. 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

転んだときに口の中を切ったり、のどに刺さって大けがをすることがある。はさみなどがったものを持たせることも絶対にやめる必要がある。

17. ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

手指をはさむ事故は多い。ドアにはストッパーをつける必要がある。自動ドアを開閉するときにお子さんが近くにいないことを確認する習慣をつけることも大切である。

18. ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにゃくゼリーなどを食べさせていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

のどに詰まらせて窒息するおそれがある食品がピーナッツなどの乾いた豆類やこんにゃくゼリーである。3歳すぎまでは与えないほうが安全である。

19. 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

幼児用プールや川、海で遊ばせるときにはライフジャケットを着用するようにすることが大切である。また大人が必ずそばにいることも必要である。

20. 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

転倒したときに大きな事故につながる可能性がある。自転車に子どもを乗せたまま自転車を止めておくことも絶対にしてはいけない。

IV. まとめ

健やか親子21の推進のための母子保健情報の利活用に向けた集積する情報内容の検討を行い、乳幼児健診（乳児，1歳6ヶ月，3歳児の3時点）における項目を創出した後、事故予防に強化した追加問診項目（事故予防オプション項目）を開発した。追加項目は20項目である。

1. お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか
2. 体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか
3. 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか
4. 家に消火器や煙感知器を備えていますか
5. ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか
6. 3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることを知っていますか
7. たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床かから1m以上の場所においていますか
8. 熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端に置いていませんか
9. 炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか
10. 階段には転落予防の柵をしていますか
11. 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか
12. お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか

13. 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか
14. 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか
15. ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか
16. 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか

17. ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか
18. ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにゃくゼリーなどを食べさせていませんか
19. 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか
20. 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか

V. 参考文献

- 1) 山中龍宏：事故予防の指標とその実行可能性についての検討，厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）山縣班報告書，2005年.
- 2) 松浦賢長，他：親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診・問診項目の開発に関する研究，厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）山縣班報告書，2005年.

表1

事故予防オプション項目20（山中先生より）						
NO.	問診項目	選択肢	乳	1.6	3	目的・意義・概要
1	お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか	はい・ときどき・いいえ	●			6歳以下の子どもの事故死の中で第一位は交通事故死である。生後すぐから、必ずチャイルドシートを着用することは法律で義務づけられている。
2	体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか	はい・いいえ	●			新生児&乳児ようのチャイルドシートの装着方法の基本をマスターすること、また、車の種類にあったものを正しく装着することも重要である。
3	自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか	はい・いいえ	●			室内はもちろんだが、自動車の中に子どもを一人で残しておくことは熱中症にもつながり、命を落としかねないので大変危険である。
4	家に消火器や煙感知器を備えていますか	はい・いいえ	●			家事や地震などの災害用に、消火器や煙感知器を撃ちに備えておく和良好的。また、震災時の持ち出し袋も用意しておく和良好的。
5	ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか	はい・いいえ	●			大人がちょっと目を話した際に赤ちゃんは転落する。ベッドには柵をし、ソファーには寝かさない、ベビーカーに載せるときはベルトで固定する必要がある。
6	3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることをしていますか	はい・いいえ	●			直径39mmというのは意外と大きな穴である。どんなものが通るのか家の中にあるものをこのシートの穴に通して確認してみると良い。
7	たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においていますか	はい・いいえ	●	●		赤ちゃんが立ったときのことを考え、赤ちゃんが口に入れたり手にすると危険なものは常に1m以上の高さのあるところにおかなければならない。
8	熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端においていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		熱い物や鋭利なものがテーブルの端にあると、赤ちゃんがいたずらをしてやけどや怪我をする原因になる。また、テーブルクロスも使わないようにすることも大切である。
9	炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		これらはすべて赤ちゃんのやけどの原因になる。手の届かない安全な場所においておく必要がある。
10	階段には転落予防の柵をしていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		はいはいが始まると階段からの転落による事故が増える。階段に柵をつけるほか、玄関などの段差のある場所にも防止対策をとらなければならない。
11	浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか	はい・いいえ	●	●		赤ちゃんは水深10cm、つまり鼻と口を覆うだけの水があれば溺れる。風呂場には鍵をかけ入れないようにしておく必要がある。
12	お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか	はい・いいえ	●	●		50cm以下だと転落する可能性がとても高くなる。いっしょに入浴中でも溺水事故はおきる。目を離さないようにする必要がある。
13	歩行器や手押し車を使わないようにしていますか	はい・いいえ	●	●		歩行器やつかまり立ちよちよち歩きでの手押し車は転落すると大きな事故やけがにつながるので使用を避けたいほうが良い。
14	固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか	はい・いいえ	●	●		チャイルドシートは正しく装着することが大切である。せつかくつけても緩んでいては意味がない。
15	ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		台によじのぼり、ベランダや窓から転落する事故が起きている。命にかかわる事故である。洗濯機や冷暖房の室外も台になる。
16	歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		転んだときに口の中を切ったり、のどに刺さって大けがをすることがある。はさみなどが口に入ったものを持たせることも絶対にやめる必要がある。
17	ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		手指をはさむ事故は多い。ドアにはストッパーをつける必要がある。自動ドアを開閉するときにお子さんが近くにいることを確認する習慣をつけることも大切である。
18	ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにやくゼリーなどを食べさせていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		のどに詰まらせて窒息するおそれがある食品がピーナッツなどの乾いた豆類やこんにやくゼリーである。3歳すぎまでは与えないほうが安全である。
19	水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		幼児用プールの川、海で遊ばせるときにはライフジャケットを着用するようにすることが大切である。また大人が必ずそばにいることも必要である。
20	自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		転倒したときに大きな事故につながる可能性がある。自転車に子どもを乗せたまま自転車を止めておくことも絶対にはいけない。



<1> お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<2> 体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか

1. はい 2. いいえ

<3> 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか

1. はい 2. いいえ

<4> 家に消火器や煙感知器を備えていますか

1. はい 2. いいえ

<5> ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか

1. はい 2. いいえ

<6> 3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることをしていますか

1. はい 2. いいえ



<1> たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においていますか

1. はい 2. いいえ

<2> 熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端においていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<3> 炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<4> 階段には転落予防の柵をしていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<5> 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか

1. はい 2. いいえ

<6> お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか

1. はい 2. いいえ

<7> 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか

1. はい 2. いいえ

<8> 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき、車のシートとの間は、

10cm以内ですか

1. はい 2. いいえ

<9> ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<10> 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<11> ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<12> ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにやくゼリーなどを食べさせていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<13> 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<14> 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ



- <1> たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においていますか
 1. はい 2. いいえ
- <2> 熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端においていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <3> 炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <4> 階段には転落予防の柵をしていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <5> 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか
 1. はい 2. いいえ
- <6> お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか
 1. はい 2. いいえ
- <7> 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか
 1. はい 2. いいえ
- <8> 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき、車のシートとの間は、
 10cm以内ですか
 1. はい 2. いいえ
- <9> ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <10> 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <11> ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <12> ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにやくゼリーなどを食べさせていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <13> 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <14> 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ

親子の社会的健康度を育むための支援に資する 幼児期健康支援に関する問診項目 —問診項目の試作と学術的事項・エビデンスに関わる事項の検討—

下園 美保子	(奈良県下市町健康増進課)
山口 智佳子	(奈良教育大学附属幼稚園)
小松原 かおり	(京都教育大学附属幼稚園)
安田 梓	(大阪市南港光小学校)
内田 薫	(大阪市港区保健福祉センター)
山野 恵美子	(奈良県医師会看護専門学校)
松浦 賢長	(福岡県立大学看護学部)
山縣 然太朗	(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

健やか親子 21 の推進のための母子保健情報の利活用にむけた集積する情報内容の検討を行い、先行研究¹²⁾である乳幼児健診問診項目を参考に、幼児期における親子の社会的健康度の支援に資するカテゴリ10項目及び幼児期の関係性・環境・子育て支援のための問診項目（以下幼児期健康支援問診項目）62項目を試作した。そのうち幼児期だけに活用する項目は、23項目あった。

また、幼児期健康支援問診項目で幼児期だけに活用する項目23項目中6項目について、学会発表レベルのエビデンスを集積した。

今後は以下の4点が必要であると考えます。1、社会的健康度を育むための支援に関する幼児期における課題の整理。2、1を基にした試作問診項目の検討。3、各項目のエビデンスレベルの向上。4、幼稚園・保育園（所）等を対象にしたモデル校（園・所）での活用からデータを集積し、エビデンスを作り出す。

A. 研究目的

健やか親子 21 の推進のための母子保健情報の利活用をめざし、集積する情報内容の検討を行った。本研究では、先行研究¹²⁾である乳幼児健診問診項目を参考に、幼児期（4歳児・5歳児・6歳児の3時点）における関係性・環境・子育て支援のための問診項目の構築をめざした試作、及び、利活用にむけた第一段階として、各項目について文献検索を行い、学会発表レベルのエビデンスを集積したので、報告する。

B. 研究方法

I. 問診項目試作

3時点における幼児期の関係性・環境・子育て支援のための問診項目を以下のポイントを考慮し検討、試作した。

- 1、乳幼児期からの縦断的な情報の利活用を考慮し、カテゴリ等については乳幼児健診問診項目を参考にした。
- 2、幼稚園等の現場での気付きのなかで把握すべき項目があるかを検討した。
- 3、健やか親子 21 の視点・指標を導入した。

- 4、カテゴリーごとに創出した。
- 5、各項目のエビデンスの集積を行った。

II、エビデンス集積

エビデンス集積方法は、主にインターネット上のホームページ及び文献検索エンジンによる検索を行った。

C. 結果

I. 問診項目試作（表1）

問診項目は、乳幼児健診問診項目を参考に、以下のカテゴリーにわけた。

- 1、親の（地域）社会との関わり
- 2、親の身体・精神的健康度
- 3、遊び
- 4、ふれあい
- 5、食
- 6、生活習慣
- 7、地域・周囲からの関わり（親子へ）
- 8、喫煙
- 9、医療
- 10、事故

また、カテゴリーのレベル設定を、乳幼児健診問診項目と同様に、以下のように設定した。

A,家庭レベル

B,地域レベル

C,社会レベル・教養レベル

とした。

3 時点のどの時期にどの情報を収集すべきか、どのレベルであるかについては、同じく表1に示している。

問診項目試作作成に当たって、基本的には乳幼児健診問診項目を活用しているが、幼児期としてふさわしい表現に変更又は新たに問診項

目を23項目追加した。ここでは、新たに追加した23項目について述べる。

カテゴリー1、親の（地域）社会との関わり

項目 2、地域の保健センター等の育児支援施設に行きますか

育児に関して気軽に相談できる場や正しい情報を入手できる場・窓口が、生活の中で現実的に存在しているかどうかをみる項目である。

カテゴリー2、親の身体的・精神的健康度

項目 11、どんな子に育てたいという育児方針はありますか

育児方針として、子どもへの対応の統一感があるかどうかをみる項目である。その時々への対応が違くと、子どもは大人を信用しなくなるのではないかと考える。

カテゴリー3、遊び

項目 19、お子さんは、順番を守って遊んでいますか

社会における基本的ルールである順番に関する理解と発達をみる項目である。最終的に5歳でできているかをチェックする。

項目 20、お子さんは、子ども同士が群れて、みんな一緒に同じ遊びをして遊んでいますか

社会的健康度を高めるために必要な群れ遊びをしているかどうかをみる項目である。群れ遊びのなかで、問題を正面から受け止め、解決するという力を養う。これは、思春期問題を自力で解決するための基礎力となると考える。

項目 21、お子さんは、遊具のないところで遊んでいますか

与えられた場ではなく、自分で考える遊びをしているかどうかをきく項目である。子どもは、

遊びの中で、工夫し発展させる力を養う。そのためには与えられた場ではなく、工夫創造を必要とするなにもない場での遊びが必要であると考える。

カテゴリー4、ふれあい

項目 22、“肩車”や“飛行機”など、体と体がふれあうような遊びをしていますか

スキンシップが十分されているかどうかを見る項目である。子どもの精神的安定を図るためにも、こどもにとって家庭が安全で安心できる場であるという、今後の発達に必要な基礎を築くための関わりでもある。

項目 23、保護者の方は、子どもを抱きしめることがありますか

スキンシップが十分されているかどうかを見る項目である。子どもの精神的安定を図るためにも、こどもにとって家庭が安全で安心できる場であるという、今後の発達に必要な基礎を築くための関わりでもある。

項目 24、お子さんと目と目をあわせて会話をすることがありますか

保護者が子どもにきちんと関わっているかどうかをみる項目である。

項目 25、お子さんにとって、怖いと思う存在の方が身近にいますか

服部³⁾によると、父親など、子どもにとって身近にいる「怖い」存在の人への同一化を図ることで、深い人間性を発達させ、善悪や正邪の判断、克己心や勇気、秩序や規則等を内在化させていくプロセスを踏む。これらの視点から、身近に「怖い」存在の人がいるかどうかを確認する項目である。

カテゴリー5、食

項目 32、お子さんは、家庭と集団（幼稚園や保育所等）とで食べる量に違いがありますか

この項目は、集団への適応状況を食から見た項目である。家庭と集団のどちらでよく食べるのかをさらに確認することで、集団への適応状況や家庭内での食事状況を確認することができると思われる。

カテゴリー6、生活習慣

項目 34、おむつをとるとき、「気持ち悪かったね」などの声かけをしていましたか

大人が、子どもに対して適切な関わりがなされているかをみる項目である。子どもを中心とした子育ての中で、どのように排泄の習慣をつけさせ、トイレで排泄できるようにするか、そのプロセスが、子どもの健全な発達を促す側面からも大切であると思われる。

項目 37、お子さんは、指すいや爪かみをしていますか

保護者の子どもとの関わりをみるための項目である。指吸いや爪かみはおしゃぶり同様、子どもの精神状態の不安定さを示すことが多い。幼児になるとおしゃぶりから指吸いや爪かみに移行する児もある。

項目 41、お子さんは、排便後、局所を自分でふけますか

生活習慣の確立の状況をみる項目である。排泄の自立についての状況把握である。

項目 42、寒暖があるとすぐに冷房と暖房をつけますか

子どもの気温に対する適応能力を伸ばすかわりがあるかどうかをみる項目である。外の気温に適応する体力がないと、外遊びがしにく

いのではないかと考える。

項目 43、お子さんの通園や習い事の準備を、お子さんにさせていますか

子どもの自立心を伸ばすかかわりをしていくかどうかをみる項目である。

項目 44、お子さんは、疲れや腹痛・下痢等を訴えますか

生活習慣の確立の状況把握する項目である。子どもが疾患等を持っていない場合、子どもの不定愁訴や無気力は生活習慣の乱れを背景にあることが考えられるため。

項目 45、お子さんは、お友達に「ごめんね」がいえませんか

自分が悪いことをしたと認識し謝罪が言葉でできるかどうかをみる項目である。服部³⁾の幼児後期の発達危機である「自発性 対罪悪感」の側面から、罪悪感をきちんと感じ、認めることが、発達上重要であると考え。

カテゴリ7、地域・周囲からの関わり（親子へ）

項目 47、あなたは、日常の育児で受ける支援に満足していますか

相談による支援や直接支援に対する満足度をみる項目である。満足度が低いと、保護者の精神安定という意味では、あまり効果がないと考える。

項目 50、お子さんは、公共施設（駅や図書館等）を利用していますか

公共施設での社会性を学ぶ機会があるかどうかをみる項目である。

項目 51、ご自宅に、友達や親族の方が訪問しますか

家庭が密室になっていないかどうかをみる項目である。

カテゴリ10、事故

項目 60、お子さんは、道路に飛び出すことがありますか

交通事故につながる行動に関する項目である。

項目 61、マンションや池等危険なところにある柵を乗り越えようとしていますか

転落事故につながる行動に関する項目である。

項目 62、自転車にお子さんを乗せたまま、その場を離れることがありますか

自転車に子どもを乗せまま放置して、自転車ごと転倒するケースがあるため、このような事故につながる行動に関する項目である。危険性を把握する基礎データとなる。

II. エビデンス集積

本研究で乳幼児健診問診項目及び新たに加えた23問診項目について、幼児教育、保育、小児保健、その他関連学会発表レベルでのエビデンスを集積した結果は以下に記述する。

カテゴリ1、親の（地域）社会との関わり

項目2、地域の保健センター等の育児支援施設に行きますか

育児グループを行政主催型育児グループ（以下 行政型）と自主型育児グループ（以下 自主型）とに分け、母親の育児不安内容と育児グループの効果を検討するため、乳幼児を持つ母親8名に面接調査を行った。結果、育児グループ参加による効果について、行政型と自主型に共通した内容は「友達が増える場」であった。

さらに、行政型のみにもあげられた効果は「相談ができる場」、「遊び場・機会の確保」、「遊びを教えてもらえる場」、「気をまぎらわす場」などであった。自主型のみにもあげられた効果は、「交流の場」、「作り物ができる場」、「情報が得られる場」、「視野が広がる場」などであった⁴⁾。

カテゴリー2、親の身体的・精神的健康度

項目 11、どんな子に育てたいという育児方針はありますか

幼児期の子育て支援を考える上での、保護者に対する基礎調査によると、「子どもが小学生になるまでに出来て欲しいこと」への回答では、特に男児においては、「学習」が高く、女児では「自立」の回答率が高かった。これらから、保護者は男児に対しては女児よりも学習面へ期待（不安）を大きく持つようである。一方女児には身支度等への生活面での期待が大きいようである。また、「現在習っているお稽古」への回答では、学齢、性差を問わず、「東京」「関東」よりも「岩手」が大幅に低くなった。特に「運動」に関するお稽古に顕著な差が認められた。これは、「空き地」などの環境面の影響も考えられるが、都会では、地域に比べ子どもの身体活動をお稽古事に任せてしまう風潮が強くなるように推察された⁵⁾。

カテゴリー6、生活習慣

項目 34、おむつをとるとき、「気持ち悪かったね」などの声かけをしていましたか

女性の社会進出、少子化社会の排泄習慣、おむつ交換などの保育・養育環境について、子どもを中心に考察を試みた。結果、働く女性が増加し、育児に手間を省きたいという「子育ての省エネ化」は、子どもの不快や快感を親が共有しつつ子育てをすることも省エネ化してしまう。紙おむつ時代のおむつは、「時間でとりか

える」「2～3回たまったらとりかえる」ものとなっている。布おむつ時代は、子どもに「気持ち悪かったね」などの語りかけをしながらおむつを換えるのが常だった。布おむつと紙おむつを対局することではなく、子どもを中心とした子育ての中で、どのように排泄の習慣をつけさせ、トイレで排泄できるようにするか、そのプロセスが大切なのである。おとなの適切な対応によって、排泄機能等の心身の発達は促される⁶⁾。

項目 37、お子さんは、指すいや爪かみをしていますか

指しゃぶりは3才頃までは生理的な行動とされるが、3才以降に継続している場合には前歯がかみ合わない「開咬」が治療しにくくなる。シリコン製「おしゃぶり」については、歯ならび、かみ合わせへの影響を含めた多角的視点から推奨できないとする報告（米津卓朗：ゴム乳首は推奨できるか。小児歯科臨床 6(9)26-33, 2001）がある⁷⁾。

また、保健所および保健センターの歯科健診に来所した幼児の保護者 323 名を対象にアンケート調査を実施、おしゃぶりと生活環境との関連について分析した。低出生体重児では「過去におしゃぶりをしていた」と答えたものが多く、保健指導の場では、出生の状況についても考慮していく必要がある。就寝時刻が遅く睡眠時間が短い者で、おしゃぶりを継続して使用している者が多く見られ、睡眠サイクルを含めた生活週間がおしゃぶりの使用に影響を与えていることが示唆された⁸⁾。

項目 43、お子さんの通園や習い事の準備を、お子さんにさせていますか

S市内の幼稚園の全児2,924名を対象に行なった調査結果では、朝食を大人の誰かと食べて

いる幼児は 76.7%であった。生活時間が整っており、朝食・夕食の食欲があるものが多かった。健康状態についてはやせすぎのものは少なく、疲労、歯痛、下痢・腹痛を訴えるものも少なかった。テレビゲームでよく遊ぶと答えた幼児は少なく、ボール、ブロック、絵本、パズル、積み木でよくあそぶと答えたものが多かった。朝食を誰かと食べることは、全身を動かす遊びが増えることとも関係し、不定愁訴の減少に繋がっているのではないかと考えた⁹⁾。

カテゴリ 7、地域・周囲からの関わり（親子へ）
項目 47、あなたは、日常の育児で受ける支援に満足していますか

働く母親の意識とそれを取り巻くソーシャル・サポート・ネットワークの実態を明らかにし、仕事と家事・育児の負担軽減の支援について検討することを目的に働く母親を対象に調査を実施。その結果、仕事と家事・育児の両立に必要なソーシャル・サポートは、夫、夫以外の家族、会社や職場の理解であった。夫のサポート内容は物理的サポートが主であり、むしろ、祖母の協力の方が物理的・情緒的・経験的サポートとして家事・育児に役立っていた¹⁰⁾。

<用語説明>○ソーシャル・サポート・ネットワーク：働く母親の周囲を取り巻き、さまざまな形の援助を提供しあう夫、夫以外の家族、会社や職場、地域社会との結びつき。○物理的サポート：物品、金銭、労働、時間の提供、環境の調整など、実際面での援助。○情緒的サポート：アドバイスや指示など情報面での援助。○経験的サポート：同じような立場や経験をもつ人からのアドバイスや指示で、母親としての役割の認識やアイデンティティの再形成に繋がるもの。

また、幼児をもつ母親の育児不安と疲労の自覚症状との関係、及びそれらに栄養する関連要

因を明確にすることを目的に、幼児をもつ保護者を対象に、吉田らの先行研究「(仮称) 育児不安スクリーニング尺度」を使用し実施した。結果、本研究と吉田らの先行研究*との因子構造の比較を行った結果、本研究と同様に先行研究でも 6 因子が抽出された。本研究の内訳は、第 1 因子『育児の喜び (満足)』、第 2 因子『育児負担』、第 3 因子『夫のサポート』、第 4 因子『自信のなさ』、第 5 因子『子どもの育て易さ』、第 6 因子『相談相手の有無』で、育児に対するポジティブな因子が 4 つ、ネガティブな因子が 2 つ混在していた。また、『夫のサポート』、『相談相手の有無』とは、具体的内容で、その他の因子は、具体的内容に働きかけることにより導き出される感情である。そのため、具体的内容を得ることにより、感情が変化すると考えられる。つまり、育児負担や自信のなさは少なくなり、子どもの育て易さが増すこととなる¹¹⁾。

D. まとめ

健やか親子 21 の推進のための母子保健情報の利活用に向けた集積する情報内容の検討を行い、先行研究¹²⁾である乳幼児健診問診項目を参考に、幼児期における親子の社会的健康度の支援に資するカテゴリ 10 項目及び幼児期健康支援問診項目 62 項目を試作した。そのうち幼児期のみを活用する項目は、23 項目あった。

問診項目 (総項目/幼児期のみの項目)

- 1、親の (地域) 社会との関わり (4 項目/1 項目)
- 2、親の身体・精神的健康度 (7 項目/1 項目)
- 3、遊び (10 項目/3 項目)
- 4、ふれあい (4 項目/4 項目)
- 5、食 (7 項目/1 項目)
- 6、生活習慣 (13 項目/7 項目)

- 7、地域・周囲からの関わり（親子へ）
（6項目/3項目）
- 8、喫煙（2項目/0項目）
- 9、医療（3項目/0項目）
- 10、事故（6項目/3項目）

また、幼児期健康支援問診項目で幼児期のみ
に活用する項目 23 項目中 6 項目について、学
会発表レベルのエビデンスを集積した。

今後は以下の 4 点が必要であると考えている。

- 1、社会的健康度を育むための支援に関する
幼児期における課題の整理
- 2、1 を基にした試作問診項目の検討
- 3、各項目のエビデンスレベルの向上
- 4、幼稚園・保育園（所）等を対象にしたモデル
校（園・所）での活用からデータを集積
し、エビデンスを作り出す。

【参考文献】

- 1) 松浦賢長、他：親子の社会的健康度を育む
ための支援に資する乳幼児健診問診項目、厚生
科学研究（子ども家庭総合研究事業）山縣班報
告書、2006、3月
- 2) 渡辺多恵子、他：親子の関係性・環境・子
育て支援のための問診項目「山縣班 50」の開
発—学術的事項・エビデンスに関わる事項の検
討レベル 1—、厚生科学研究（子ども家庭総合
研究事業）山縣班報告書、2006、3月
- 3) 服部祥子著：「生涯人間発達論—人間への深
い理解と愛情を育むために—」、医学書院、
2000
- 4) 沼田加代：育児グループの形態別にみた育
児不安と育児グループの効果に関する検討、群
馬保健学紀要、25:15-24、2004
- 5) 鈴木康弘、他：保護者の子どもへの期待と
不安～幼児の生活調査より～、578-579
- 6) 勝木洋子：乳幼児のおむつと環境、姫路工
業大学環境人間学部文化環境学大講座、姫路工
業大学環境人間学部研究報告、第 6 号、2004
103-114
- 7) 佐々木昭彦：歯科的異常の診かた。小児科
診療、67(6)：988-993.2004
- 8) 浅里仁、他：おしゃぶりについての実態調
査—第 8 報 生活習慣、家庭環境との関連につ
いて—。第 52 回日本小児保健学会講演集：
492-493。2005
- 9) 真名子香織、他：幼児期における遊びを中
心とした生活習慣の相互関連に関する研究。日
本公衆衛生雑誌、2006
- 10) 山田英津子、他：働く母親のソーシャル・
サポート・ネットワークの実態、産業医科大学
雑誌、27（1）：41-62、2005
- 11) 林田りか、他：幼児をもつ母親の育児不安
と疲労の自覚症状に関する研究、県立長崎シー
ボルト大学看護栄養学部紀要第 4 巻、2003

表 1 幼児期の関係性・環境・子育て支援のための問診項目

- 1) カテゴリー10ごとに問診項目を記した。
 2) 健やか親子の指標は「健やか親子項目」の列に記した。
 3) 全国調査における類似設問を記し、その内容についても記載した。
 4) 太字・斜字は、幼児期のみで活用する項目。又は乳幼児健診問診項目から追加・修正した部分。

NO	親子の社会的健康度の支援に視するカテゴリー10	関係性・環境・子育て支援のための問診項目50（山縣班）	4	5	6	健やか親子項目	カテゴリーレベルの分類	類似設問	設問内容
			歳児	歳児	歳児				
1	親の(地域)社会との関わり	地域の子育てサークルや子ども会等に参加していますか	●	●	●		B) 地域レベル	● 幼児健康度調査 (Q4)	● 子育てサークルに参加していますか
2	親の(地域)社会との関わり	地域の保健センター等の育児支援施設に行きますか	●	●	●		B) 地域レベル		
3	親の(地域)社会との関わり	地域のお祭り等の行事に参加していますか	●	●	●		B) 地域レベル		
4	親の(地域)社会との関わり	公園や児童館などに子どもを連れて遊びに行くことがありますか	●	●	●		A) 家庭レベル B) 地域レベル C) 社会・教養レベル		
5	親の身体・精神的健康度	子育てが楽しいと思える時がよくありますか	●	●	●		A) 家庭レベル		
6	親の身体・精神的健康度	自分はこの子を、扱いにくい子だと感じていますか	●	●	●		A) 家庭レベル	● 親と子の健康度調査(乳一問16 1・6歳一問12 3歳一問13) ● 幼児健康度調査(Q6)	● お母さんは育児に自信が持てないことか ● 育児に自信がもてないことか
7	親の身体・精神的健康度	自分は子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか	●	●	●	4-4 子どもを虐待していると思う親の割合	A) 家庭レベル	● 親と子の健康度調査(乳一問17 1・6歳一問13 3歳一問14) ● 幼児健康度調査(Q8)	● お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことか ● 子どもを虐待しているのではないかと思うことか

8	親の身体・精神的健康度	あなたは現在、健康上の問題で子育てに何か影響はありますか							A) 家庭レベル	● 幼児健康度調査 (Q5) ● 国民生活基礎調査 (14) ● SF 3 6	● あなた(お母さん)の気持ちやからだの調子はいかがですか ● 日常生活影響への有無
9	親の身体・精神的健康度	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか	●	●	●	●	○	4-5 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	A) 家庭レベル	● 親と子の健康度調査 (乳一問 15 1-6 一問 11 3 歳一問 12) ● 幼児健康度調査 (Q9)	● お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか
10	親の身体・精神的健康度	自分ひとりで子育てしているという思いがありますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル B) 地域レベル		
11	親の身体・精神的健康度	どんな子に育てたいという育児方針がありますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル		
12	遊び	よくテレビ・ビデオを見せていますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル	● 幼児健康度調査 (Q41) ● 幼児健康度調査 (18~23ヶ月_Q12, 3歳_Q14)	● 忙しいなど何らかの理由で子どもにビデオ、テレビを見せたくありませんか ● 1日にテレビやビデオをどれくらい見せていますか/どれくらい見せていますか
13	遊び	絵本の読み聞かせをよくしていますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル		
14	遊び	お子さんとよく遊んでいますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル		
15	遊び	お父さんはお父さんとよく遊んでいますか	●	●	●	●	○	4-8 子どもと一緒に遊ぶ父親の割合	A) 家庭レベル	● 親と子の健康度調査 (乳一問 19 1-6 一問 15 3 歳一問 16) ● 幼児健康度調査 (Q15)	● お父さんはお父さんとよく遊んでいますか
16	遊び	外遊びをよくしますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル		
17	遊び	友だちとよく遊びますか	●	●	●	●			A) 家庭レベル B) 地域レベル	● 幼児健康度調査 (Q48)	● いつも遊ぶ友だちがいますか

18	遊び	ごっこ遊びをしていますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル		
19	遊び	お子さんは、順番を守って遊んでいますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル B) 地域レベル		
20	遊び	お子さんは、子ども同士が群れて、みんな一緒に同じ遊びをして遊んでいますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル B) 地域レベル		
21	遊び	お子さんは、遊具の設置されていないところで遊んでいますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル B) 地域レベル C) 社会・教養レベル		
22	母乳・接触	"肩車"や"飛行機"など、体と体が触れ合うような遊びをしていますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル		
23	母乳・接触	保護者の方は、子どもを抱きしめることがありますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル		
24	母乳・接触	お子さんと目と目を合わせて会話をすることがありますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル		
25	母乳・接触	お子さんにとっって、怖いと思う存在の方が身近にいますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル B) 地域レベル		
26	食	食事の時間は決まっていますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル	☆「食を通じた子ども健全育成（一い）の視点から一）のあり方に関する検討会」報告書 ☆"	☆（目標1）食事のリズムがもてる
27	食	家族と一緒に食事をすることがよくありますか（1日最低1食ふたり以上で）	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル	☆"	☆（目標3）一緒に食べたい人がいる
28	食	おやつは時間をきめて与えますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル	☆" ●幼児健康度調査（Q36）	☆（目標1）食事のリズムがもてる ●おやつとの与え方などのようにしていますか
29	食	よくかんで食べますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル	☆" ●幼児健康度調査（3歳_Q10）	☆（目標2）食事を味わって食べる ●よくかんで食べる習慣はありますか
30	食	子どもの食事をつくるのは楽しいですか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	A) 家庭レベル	☆"	☆（目標4）食事づくりや準備に関わる

31	食	お子さんは、一緒に食事づくりや後片付けをしていますか									☆	☆ (目標4) 食事づくりや準備に関わる
32	食	お子さんは、家庭と集団(幼稚園や保育所等)とで食べる量に違いがありますか										
33	生活習慣	おむつはとれましたか										● Q53_おねしょをしますか/Q54_おしっこのしつけを始めていますか/Q55_大便(うんち)のしつけを始めていますか
34	生活習慣	おむつをとるとき、「気持ち悪かったね」などの声かけをしていますか										
35	生活習慣	子どもを連れて夜外出・外食などをすることがよくありますか										
37	生活習慣	お子さんは、指すいや爪かみをしていきますか										
38	生活習慣	歯磨きや手洗いをしていますか										● 歯磨きや手洗いをしていますか
39	生活習慣	衣服の着脱をひとりで行えますか										● 幼児健康度調査(3歳_Q11) ● 幼児健康度調査(3歳_Q8)
40	生活習慣	保護者が歯の仕上げみがきをしていますか										● 歯磨きや手洗いをしていますか ● 衣服の着脱をひとりで行えますか ● 歯ブラシを使う習慣はついていますか
41	生活習慣	お子さんは、排便後、局所を自分でふけますか										
42	生活習慣	寒暖があるとすぐに冷房や暖房をつけますか										
43	生活習慣	お子さんの通園や習い事の準備を、お子さんにさせていますか										
44	生活習慣	お子さんは、疲れや腹痛・下痢等を訴えますか										
45	生活習慣	お子さんは、お友達に「ごめんね」がいえませんか										

46	地域・周囲からの関わり(親子へ)	日常の子育ての相談相手は誰ですか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4-6 育児について相談相手のいる母親の割合	B) 地域レベル	●親と子の健康度調査(乳一問 20 1・6 一問 16 3 歳一問 17) ●幼児健康度調査(Q32)	●お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか ●日常の育児の相談相手は誰ですか
47	地域・周囲からの関わり(親子へ)	あなたは、日常の育児で受ける支援に満足していますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		A) 家庭レベル B) 地域レベル C) 社会・教養レベル		
48	地域・周囲からの関わり(親子へ)	あなたの住んでいる地域では、子どもに道で声をかけてくれる人がいますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		B) 地域レベル		
49	地域・周囲からの関わり(親子へ)	あなたは、他の子どもに道でよく声をかけますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		B) 地域レベル		
50	地域・周囲からの関わり(親子へ)	お子さんは、公共施設(駅や図書館等)を利用しますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		A) 家庭レベル B) 地域レベル		
51	地域・周囲からの関わり(親子へ)	ご自宅に、友達や親族の方が訪問しますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		A) 家庭レベル		
52	喫煙	あなたは現在喫煙していますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3-7 育児期間中の両親の自宅での禁煙率	C) 社会・教養レベル	●親と子の健康度調査(乳一問 23 1・6 一問 26 3 歳一問 21)	あなた(お母さん)の現在の喫煙
53	喫煙	あなた以外の家族に、現在、喫煙している人がいますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3-7 育児期間中の両親の自宅での禁煙率	C) 社会・教養レベル	●親と子の健康度調査(乳一問 24 1・6 一問 27 3 歳一問 22)	●夫(お父さん)の現在の喫煙
54	医療	かかりつけの医師はいますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3-9 かかりつけの小児科医師をもつ親の割合	C) 社会・教養レベル	●親と子の健康度調査(乳一問 22 1・6 一問 18 3 歳一問 18) ●幼児健康度調査(Q30)	●かかりつけの医師はいますか
55	医療	休日夜間にお子さんが急病のとき、診察してもらえますか 知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3-10 休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合	C) 社会・教養レベル	●親と子の健康度調査(1・6一問 19 3 歳一問 1)	●休日夜間にお子さんが急病のとき、診察してもらえますか 医療機関を知っていますか

56	医療	子どもを対象にした心肺蘇生法（心臓マッサージなどの救急措置）の講習を受けたことがありますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	○	3-13 心肺蘇生法を知っている親の割合	C) 社会・教養レベル	●親と子の健康度調査(1・6-1問 20 3歳 1問 20)	●心肺蘇生法（心臓マッサージなどの救急措置）を知っていますか
57	事故	車に乗るときはチャイルドシートを必ず着用していますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			A) 家庭レベル	●親と子の健康度調査(1・6-1問 28_5 3歳 1問 25_4)	●自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取りつけて乗せていますか
58	事故	あなたは、車に乗るときはシートベルトを必ず着用していますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			A) 家庭レベル		
59	事故	自転車に乗せる時には、子どもにヘルメットを着用させていますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			A) 家庭レベル		
60	事故	お子さんは、道路に飛び出すことがありますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			A) 家庭レベル B) 地域レベル		
61	事故	マンションや池等危険な所にある柵を乗り越えようとしていますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			A) 家庭レベル B) 地域レベル		
62	事故	自転車にお子さんを乗せたまま、その場を離れることがありますか	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			A) 家庭レベル		

親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診・問診項目の開発に関する研究

～食育の観点からみた幼児の生活習慣と親の知識・意識の関連～

久野 一恵 （西九州大学健康栄養学科）
真名子香織 （西九州大学健康栄養学科）
松浦 賢長 （福岡県立大学看護学部）
山縣然太朗 （山梨大学大学院医学工学総合研究部）

幼児の発育には保護者の育児に対する意識や態度が大きく影響する。今回、食育の観点から、幼児の生活習慣と、親の知識・意識の関係について把握した。

1. 食事作りの楽しさ：「子どもの食事を作るのが楽しい人」は、「食事の時間が親子のふれあいの場になっている」「栄養成分表示を見ている」「噛む力がついてきているか気にして食事を作る」など育児全体に関心があった。

2. 食事作りの手伝い：食事の準備などの手伝いをする幼児は、祖父母と同居していないものが多く、食事のときにいただきます、ごちそうさまの挨拶ができ、早起きであった。また、親と一緒に買い物をするや野菜を食べるなどの食生活も良好であった。

3. 早寝早起き型：早寝早起きの子どもは女兒に多く、牛乳を飲んでいる幼児が多かった。

4. 仕上げ歯磨き：家族の誰かが仕上げ磨きをしていると答えた幼児には、毎日朝食を食べているものが多く、親は「幼児期は食事リズムの基礎ができる時代であることを知っている」「給食の献立表を見ている」「栄養成分表示を見る」など、子どもの生活についての関心が高かった。

A. 研究目的

幼児の発育には保護者の育児に対する意識や態度が大きく影響する。このことは、食生活においても例外ではなく、本研究班においても、社会的健康度を育むための食生活の検診・問診項目の検討を行うなかで¹⁾、親の意識である「子供の食事をつくるのは楽しいですか」「お子さんは、一緒に食事作りや後片付けをしていますか」について取り上げている。これらの設問によって、幼児がかかえるどのような課題を把握できるのかという検診・問診項目の有効性を検討するための基礎データとするために、幼児の保護者を対象に実施されていたアンケート調査結果を解析し、山縣班 50（問診編）に

取り上げられた設問と、生活習慣、食習慣との関係を検討した。解析に用いたアンケート調査では、生活習慣のカテゴリーの項目である「子どもが早寝早起き型になっていますか」、歯のカテゴリーの項目である「保護者が歯の仕上げ磨きをしていますか」についても尋ねられていたので、これらの設問についても解析を行った。

B. 研究方法

対象者は、3歳以上の幼稚園児と保育園児計185名であった。回収率は、76.2%（141名）であった。調査は、平成17年11月、無記名、親の自記式、留め置き法で行った。

アンケートの内容は、基本的特性に加えて早